

TOREK 自然農法 ホットニュース

第 149 号 2010.9.25

自然の田んぼを見に行こう！

9月12日(日)、長野県木島平の堀農園の自然農法圃場見学会に行ってきました。

6月の補植や草取りに参加した人は、自分が手を入れた田んぼの稲の美しく生長した姿を見て感動していました。「補植したときの苗は小さく、頼りなくて不安だった。そのとき、隣の慣行農法の苗は青々として立派だったが、今それが逆転している！これが見たかった！」と、うれしそうでした。株間の広さに注目した人は、「なんだか、欲張ってない感じがいいですね。スーッとして」とのこと。

堀さんは「田んぼ1枚1枚に個性がある。それに合った方法を考えていくところに人間の知恵を出す余地があり、面白いところでもある」、また、モチ米の粒の先には赤いポッチがあると教えてもらい、あらためてコシヒカリと見比べると確かに全体的にも色の違いがあることに気づきました。

周りの慣行農法の田んぼには、倒伏している稲が多くあり、根元を握ってみると柔らかく、頼りない感じがしましたが、自然の稲は固く、しっかりとしています。



「自然の田んぼは呼吸できる」など、いろいろなお話が聞けました。

生産者も消費者もそれぞれに事情や問題がある、しかし、「自然農法を広めたい気持ち」という共通点を持っている、そして、自然農法にたずさわると喜びを感じながら、それぞれがしっかりと取り組んでいたらよいのでは、と今回教えていただきました。私も人間グループの農園係として、見学会に参加してよかったと思いました。(編集部:田村)

感謝の心で自然農法

米沢市 小関 宮子

私は今年72歳になりました。60坪の畑で何十年と長く野菜作りをしています。妹から自然農法の素晴らしさを聞いてはいたのですが、農薬も肥料も使わずに野菜ができるなんて、信じられないと思っていました。しかし、あることがきっかけで取り組んでみようと思い、もう5年になります。

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。



見学の後は、ペンションでお昼ご飯を食べ、感想などを語り合いました。

「ぜひ稲刈りに参加したい、できれば年間を通しての作業も体験したい」

「頒布会の係として、より向上をめざし、生産者と関わる時間を作っていきたい」

「自分が小さいころは、田畑には糞尿をかけ、農薬もたくさんまいていた。それで農業はイヤだと思い、東京へ出てきた。無肥料無農薬栽培の自然農法を知り、これが本当の農業だと思った。きれいなものを食べて立派な人間になれるのだと、つくづく思った」

「自分の家の周りに畑があるが、すごい匂いがする。自然の田んぼは稲が気持ちよさそうで、自分も気持ちよく呼吸できる」など、いろいろなお話が聞けました。



最初の2年間はあまり成績がよくなかったのですが、3年たったころから、収穫できるようになってきました。市販の野菜に比べ、自然農法の作物ひとつひとつの素晴らしさに感動しました。甘み、味の深さ、色、つやがあって...何十年も肥料に頼っていたことに恥ずかしい思いです。

昨年の秋、自然農法のダイコンと有肥のダイコンを土に埋めて保存し、3月に掘り出してみました。自然のダイコンは埋めたときのままでしたが、有肥のダイコンは腐っていたのです。また、自然農法のコマツナは、根っこが長く、太く、とても驚いたことがあります。大豆も甘みとコクがあります。

70歳過ぎて、こんなに野菜作りを楽しませていただき、とても幸せを感じています。これからも、喜びと感謝をもって取り組んでいきたいと思っております。毎年、農産展に出品させていただき、ありがとうございます。11月3日に向かって、何を出品させていただこうかと楽しみにです。



自然のスイカで夏をのりきる

練馬区 大山 朋子

毎年夏になると、暑さで体調を崩してしまい、食欲もなくなってしまいますが、ここ数年、自然農法の夏野菜をたくさん食することができ、自然農法の野菜の力で乗り越えています。

今年は猛暑ということもあり、8月14日に突然の苦しさの後、おう吐してしまいました。すっきりするかと思ったのもつかの間、苦しさで吐き気はおさまらず、その日は自然のほうじ茶だけで過ごしました。

次の日15日、八王子の農産展で、弥生会の青年の方々が丹精込めて作られた、数少ない自然農法のスイカを購入することができました。体調はというと、胸のあたりが何となく気持ち悪くてすっきりせず、何か食べたいという気持ちにはなれませんでした。ところが、冷蔵庫を開けたとき、弥生会のスイカが目に入ると、食べたい気持ちがわいてきて、食べたところ、そのすっきりした甘さと瑞々しさ、そして皮の白いところまでの美味しさに感動しました。

食べてしばらくしてから、胸の辺りに残っていた気持ち悪さがなくなり、とてもすっきりしてきました。改めて、自然農法の作物の持つ力に感謝いたしました。自然農法の作物を作ってくださっている全ての方に感謝しています。



スイカのきれいな幼児まで食べることができた弥生会のスイカ

お知らせ

自然農法頒布会

10月15日(金) 鎌ヶ谷会場 11:00 ~ (売り切れ次第終了)

10月31日(日) 東中野会場 10:00 ~ (売り切れ次第終了)

自然農法農産展

11月3日(祝) 展示 / 21日(日) 販売



9/19 鎌ヶ谷会場

無施肥無農薬栽培物の販売予定

10月3日 於: 伊都能売会館

生産者の方々が直接販売されます。

東京都八王子市長房町 57 042-665-6369

きじま平自然農産: エダマメ、きじま弁当

長柄山自然農園: 卵、鶏ガラ

市川生産グループ: 煎茶、ほうじ茶

飯塚農園: みそ

中島農園: ジャガイモ、ネギ、ニンジン

よしたい農園: モチ米

ジョリフィーユ: いちごの-ル-キ、ほうじ茶プリン、カスタードプリン、マドレーヌ、ガレット ほか

お問い合わせ先: 編集部 針貝 FAX: 03-3369-3324 e-mail: naturefarming@torek.jp
TOREK活動のホームページもご覧ください。 <http://www.torek.jp>

